

20 山役農建第 184 号

平成 20 年 10 月 30 日

国土交通省道路局長 様

山形村長 清沢實視



今後の道路行政についての意見・提案について

平成 20 年 9 月 19 日付で依頼のありました標記の件につきまして、別紙により回答いたします。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や意見など

長野県 山形村

- 1、本村では、通過車両の増加や冬期の凍結、経年などによる道路舗装面の劣化が県道、村道を問わず目立ちます。
村の限られた予算では新設改良、維持補修を行うにも十分でなく今後の路面補修を計画的に行えません。そこで、既存の道路の経年劣化等による路面維持補修に対応した財源（交付金、補助金等）の創設を要望します。
- 2、道路の新規計画等につきましては、交通緩和、渋滞解消、安全対策面から必要とする箇所がありますが昨今の財政状況から、なかなか進まない状況です。
本村においては人口増加に伴い、新規道路の計画路線付近の周囲は宅地化が進み用地の確保が難しくなっています。県主体の事業にあってはできるだけ早期に計画の着手を望むよう国、県に併せて要望します。（例として、県道新田松本線の竹田バイパス、及び自歩道、県道塩尻鍋割穂高線の歩道など）
- 3、鉄道もなくバス運行のみの公共輸送機関の整備が乏しい本村においては、移動には必然的に自家用車に頼り生活しています。しかしながら昨今の環境問題、運転者の高齢化、更には住民からの道路事情の改善要望など現状では多くの問題があります。
将来を見据えた中では、地方でも自家用車を必要としないくらいの輸送機関の整備が近い時期必要となるのではないのでしょうか。
コミュニティバス、ライトレール等地域単位でのバスや鉄道などの整備や自家用車に代わる新しい輸送機関での身近で多くの人々が利用できる交通施策を望みます。
また、当面では長距離移動に対応した自動車専用道路の更なる整備と併せ、生活圏内では自動車を優先した道路から歩行者や自転車にも気を配った道路整備が重要かと思います。